

北海道の優位性を活かし、集積が進みつつあるヘルスケア産業

近年、医薬品・医療機器、バイオ関連の企業が北海道に進出

北海道は、医療系大学の集積が進んでいること、首都圏等との同時被災リスクが低いこと、機能性素材の原料として期待される農林水産物が豊富にあることなどから、近年、道外から医薬品・医療機器、バイオなどヘルスケア関連企業の立地が進んでいます。道では、基幹産業である食関連産業や観光産業、集積の進みつつあるものづくり産業のヘルスケア分野をターゲットとして、産業集積を目指しており、企業立地や参入を促進するため、道内の医療系大学の研究シーズの紹介や、ヘルスケア関連分野に参入している道内ものづくり企業の技術力のPRなどを行っています。

■最近北海道に進出したヘルスケア関連企業

操業年	企業名	分野	本社	立地市町村
2008 (H20)	塩野義製薬(株)	医薬品	大阪府	札幌市
2010 (H22)	(株)ツムラ	医薬品	東京都	夕張市
2013 (H25)	浜理薬品工業(株)	医薬品	大阪府	千歳市
2013 (H25)	日本製薬工業(株)	機能性食品	愛知県	北見市
2014 (H26)	宏輝(株)	機能性食品	東京都	函館市
2015 (H27)	(株)ユニシス	医療機器	東京都	北広島市
2016 (H28)	中北薬品(株)	医薬品	愛知県	北広島市
2016 (H28)	ニプロ(株)	医薬品	大阪府	札幌市
2017 (H29)	(株)ナチュラルサイエンス	化粧品	東京都	白老町
2018 (H30)	(株)常光	医療機器	東京都	札幌市

■ヘルスケア関連企業の立地事例(中北薬品(株))

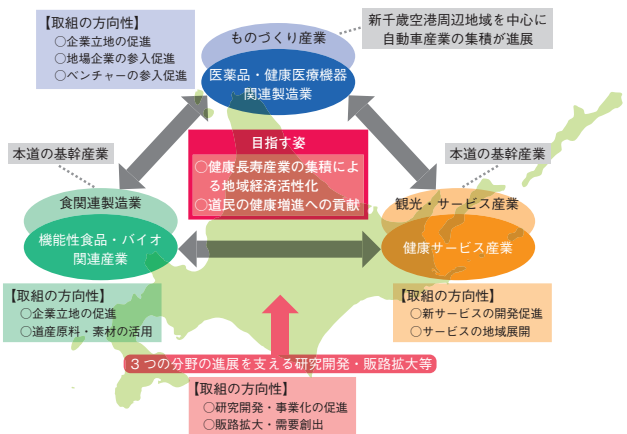
創業290年の長い歴史を持つ「中北薬品(株)(本社:愛知県)」は、医薬品・医薬部外品の製造から卸売、流通、顧客支援などを幅広く手掛けている医薬総合商社です。

リスク分散や良質で豊富な地下水の着目により、新千歳空港と札幌中心部の中間地点に位置する北広島市に新工場を建設し、主に内服液剤を製造しています。

また、同社では道内の大学や高等専門学校からの人材を採用したり、道内産ワインを原料とする薬用ぶどう酒を製造するなど、地域に密着した企業活動を展開しています。



■道の健康長寿産業振興に向けた基本的な考え方



■多彩な機能性素材や研究シーズ

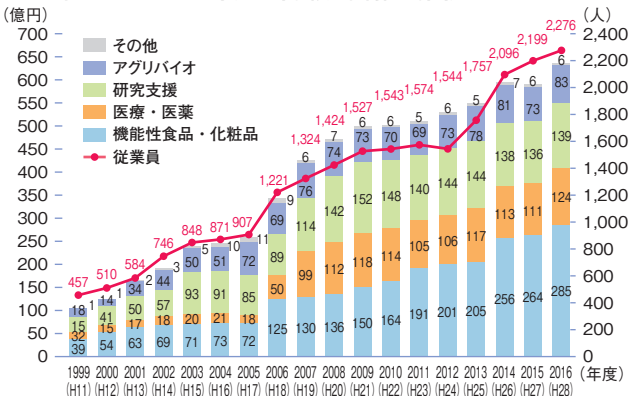
- 機能性素材辞典(写真:左)
道内に豊富に存在する、食品素材や薬用植物の特徴などを紹介しています。
- 健康・医療研究シーズ集(写真:右)
道内医療系大学等の医薬品、医療機器、機能性素材に至る「健康・医療」関連分野の研究シーズを紹介しています。



道産原料・素材を活かしたバイオ産業を後押しし、着実に成長

北海道経済産業局の「北海道バイオレポート2017」によると、道内バイオ産業の2016(平成28)年度は、売上高では前年度比8.1%増の638億円となり、17年間で6倍以上に伸び、また、従業員数も前年度比3.5%増の2,276名となり、17年間で4倍以上に増加するなど、地域経済や雇用を支える産業へと成長を遂げています。特に、本道の豊富な農水産資源や食に関する研究集積を背景に、機能性食品分野への期待が高く、2013(平成25)年に北海道が創設した全国の自治体で唯一の食品機能性認定制度「北海道食品機能性表示制度(愛称:ヘルシーDo(ドゥ))」の活用などに向けて、道内企業・関係機関による食品機能性にまつわる研究・開発が活発となっており、大きな注目を浴びています。

■北海道のバイオ企業売上高(分野別)の推移



■食の臨床試験・江別モデル(北海道情報大学)

北海道情報大学が運営する「食の臨床試験・江別モデル」は、食の安全性・機能性の科学的根拠を地域と連携した「ヒト介入試験」により効果的・低コストで実施できる、世界的にも稀なシステムです。江別市は農畜産業が盛んで、試験研究機関・大学の集積からフード特区に指定され、機能性食品の研究開発に相応しい条件が揃っているほか、地域住民ぐるみのボランティア参加により継続した試験体制が整備されており、中小企業でも活用可能な仕組みが構築されています。

